



梅雨到来!



雨天時の交通事故防止

①「急」のつく運転操作は危険!

- 『急発進』『急ブレーキ』『急ハンドル』はスリップしやすく事故につながります。雨の日は普段より余裕を持った運転操作を心がけましょう。
- マンホールなどの金属部分や道路の白線部分は特に滑りやすいので注意が必要です!



②「車間距離」を保ちましょう!

- 雨天時は路面が滑りやすく、停止に必要な距離が晴天時よりも延びるので車間距離を長めに保ちましょう!

(例)時速40キロの車両の停止距離は?

【晴天時】約17.3m 【雨天時】約23.7m ※アスファルト路面の場合



③自転車は「雨合羽」を着用!

- 傘さし運転は
 - ・片手運転で適切な運転操作が出来ない
 - ・傘が周囲への見通しを妨げる
 - ・強風で傘があおられ転倒の恐れがあるなど大変危険なのでやめましょう!



注意

晴天の多い5月から梅雨時期(6~7月)に入ると事故が増加していきます。灘署管内発生的人身事故(令和元年~5年)は『5月138件 → 6月155件 → 7月176件 → 8月154件』と推移しています。

